

かんきょう 言取言方

第3号 令和3年6月5日

諏訪学区環境保全委員会

発行 総務広報部会

kankyosuwa@gmail.com

はじめに

県知事の候補地選定発表から1年が経ちました。1年の間には住民の理解を深めるべく説明会や見学会が実施されてきました。日立市長は受入可否を熟慮中です。

今回は2月23日に諏訪学区環境委員会から県に出した104項目の提案、要望、質問の中の主な意見と5月の環境保全委員会のテーマを紹介します。

※4月の出来事

- 24日 諏訪学区環境保全委員会 総会
104項目の提案、要望、質問に対する県の回答
- 30日 日立市議会 新産業廃棄物最終処分場 特別委員会

※5月の出来事

- 25日 第7回環境保全委員会（各部会からの調査発表と意見交換会）

諏訪学区環境保全委員会が発足された目的

委員会は諏訪学区大平田地区に産業廃棄物最終処分場建設計画が茨城県より提示された事を受けて設置され、もし最終処分場が建設されたとしても、最終処分場による生活環境への影響を防止し、当地域内が安全で安心な生活環境が整っていることで地域住民が安心して生活ができるように客観的な意見及び要望を取り纏め、これを茨城県、茨城県環境保全事業団、日立市及び関係者に発出すると共に最新の状況について諏訪学区自治会に報告を実施し、将来に亘り、環境にやさしい住みよいまちづくりを推進することを目的としています。

今回、県に出した104項目の中の主な意見

もし造るのであれば
最新技術と全国の事例を
提示してほしい。また 安全安心
に十分に 配慮した全国に誇れる技術
レベルのものにしてほしい。**施設は
オープン型（屋根なし）に捉われず、
クローズ型（屋根あり）も再検討する
価値があるのではないか**

福島のような原発事故が
この地で起った時、長期運用
可能な非常用電源がないと施設の
安全を確保できないのではないかと

住民の安全安心を
考えると、施設配置図を
住民に提示して、もっと深い
議論をすべきではないかと

新設道路を整備して
から、処分場の工事を始め
てほしい（梅林通りは諏訪
神社の表参道です）

参

考

日立市議会や茨城県議会では様々な議員の質疑と市長や県知事の答弁が行われております。内容は市議会や県議会のHPで公開され、過去に溯ってみることが出来ますので興味のある方は検索ください。
茨城県議会→検索で会議検索→検索で新産業廃棄物最終処分場
日立市議会→会議録の閲覧と検索→検索で新産業廃棄物最終処分場と入力
日立市議会→トップページ→新着情報の令和3年5月10日で特別委員会の会議結果について

県の施設配置イメージ図を参考にしました



5月 各部会からの調査発表と意見交換会のテーマ

環境保全委員会では下記3部会にて、様々な調査や意見交換を行っています。

道路 交通安全部会	・山側道路より新道について住民意見やその他要望事項の取り纏め ・市道沿線（油縄子交差点～梅見橋）調査、危険箇所、改良要望箇所、その他要望事項の取り纏め ・県道沿線（梅見橋～予定地）調査、危険箇所、改良要望箇所、その他要望事項の取り纏め
施設 環境衛生部会	・激甚災害や過酷事故についての対処文献の先例、事例の調査 ・施設のオープン型、クローズ型の比較表などの作成や激甚災害時の建物、施設の被害や東海原発の被害も想定した調査
地域振興部会	・大平田地区との意見交換会 ・梅友会との意見交換会 ・鮎川をきれいにする会との意見交換会 ・地域内の団体（学子連、PTA、女性会など）との意見交換会

編集後記

県や市は行政のプロ、議員は議会のプロ、事業団は環境施設管理のプロ等、この1年、様々なプロが登場しました。

私たち住民は諏訪地区のプロです。住んでいる場所、毎日通る道等、住民だから気付く目線や実態を、今後も遠慮なく各所にとどけ、後世に恥じない、誠実かつ建設的な議論を醸成したいものです。

